

# 公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

理事長 井上満郎

### 2 所在地

京都市上京区今出川通大宮東入元伊佐町 265 番地の 1

### 3 電話番号

075-415-0521

### 4 ホームページアドレス

<http://www.kyoto-arc.or.jp>

### 5 設立年月日

昭和 51 年 10 月 26 日

### 6 基本財産

932,366 千円（うち本市出えん額 932,366 千円，出えん率 100.0%）

### 7 事業目的

京都市内の埋蔵文化財をはじめ，史跡，名勝等の文化財の調査，研究，保護及びその調査成果の公開，活用を行うとともに，文化財及び関連する施設等の管理を行うことにより，学術・文化の振興や地域社会の健全な発展等に寄与すること。

### 8 業務内容

- (1) 埋蔵文化財及び史跡，名勝等の文化財の調査，研究及び保護に関する事業
- (2) 埋蔵文化財及び史跡，名勝等の文化財の活用及び保護意識の普及啓発に関する事業
- (3) 文化財及び文化財に関わる京都市から指定管理者の指定等を受けた施設の管理運営
- (4) その他，この法人の目的を達成するために必要な事業

### 9 所管部局

文化市民局文化芸術都市推進室文化財保護課（TEL075-366-1498）

### 10 役員名等

#### (1) 理事長

井上満郎

#### (2) 専務理事

中村好宏（文化市民局文化芸術都市推進室担当部長）

#### (3) 理事

五十川伸矢，岩崎奈緒子，小椋純一，神山俊昭，鋤柄俊夫，伊達仁美，玉置泰紀，西山良平，三田真史

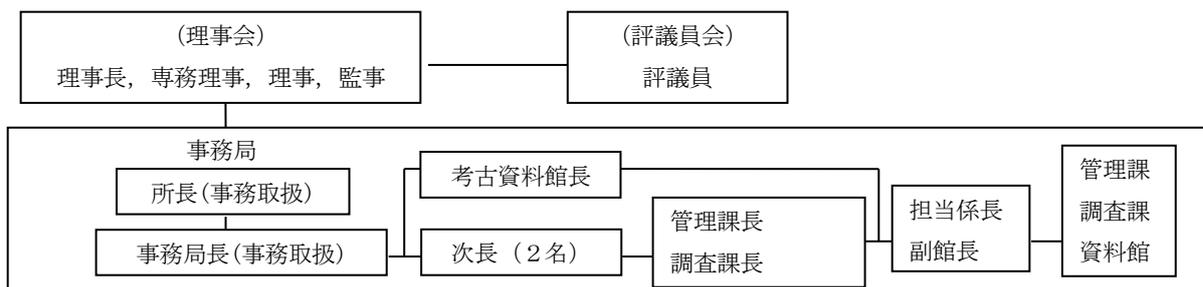
#### (4) 監事

廣瀬伸彦，西山真司（文化市民局文化芸術都市推進室文化財担当部長）

### 11 常勤職員数

33 人（うち本市派遣職員 0 人）

### 12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成30年度決算

#### (1) 事業報告

- ア 理事会及び評議員会の開催
- イ 発掘調査, 考古学的調査, 調査支援及び測量・保存処理・写真撮影等の実施
- ウ 京都市受託事業
  - (ア) 出土遺物の保管管理及び出土遺物の整理事業
  - (イ) 埋蔵文化財出土遺物指定準備事業
  - (ウ) 埋蔵文化財普及啓発事業
  - (エ) 史跡名勝等管理委託事業
  - (オ) 京都市考古資料館指定管理の受託
- エ 埋蔵文化財調査報告書の刊行
- オ 講演会・イベントの開催
  - (ア) 中京子ども歴史・文化体験(中京区役所委託事業)
  - (イ) 子ども歴史体験～伏見城跡発掘調査と出土瓦の拓本作成～  
(「伏見連続講座－ふれて, して, みて伏見－」番外編)(伏見区役所委託事業)
  - (ウ) 伏見・お城まつり2018(主催:同実行委員会)
  - (エ) みなみの歴史探検隊～西寺跡発掘調査と勾玉づくり～  
(南区役所委託事業)
  - (オ) 明治150年京都創生  
島津製作所本社見学会(発掘調査出土品・パネル展示)
  - (カ) こどもシゴト博@右京2018(右京子ども職業体験実行委員会)
  - (キ) 文化財講演会「新視点 北山殿・金閣寺-南池跡の調査成果から-」
- カ 現地説明会・現地公開・現場見学会の開催
- キ 「リーフレット京都」(No.351～No.362)の発行
- ク 全国埋蔵文化財法人連絡協議会への参加
- ケ その他研究会等への派遣
- コ 講師等の派遣
- サ 出前授業等
- シ インターネット(ホームページ・フェイスブック)による情報発信・開示
- ス 職員研修の推進等
- セ 京都市考古資料館事業
  - (ア) 特別展示の実施
    - a 「足もとに眠る京都ー考古学からみた鴨東の歴史ー」旧石器～古墳時代編  
(平成30年2月14日～6月24日)
    - b 「お公家さんのうつわー京都御苑出土の古伊万里を中心にー」  
(平成30年7月14日～11月25日)
    - c 「京都の飛鳥・白鳳寺院ー平安京遷都前の北山背ー」  
(平成31年2月9日～令和元年6月28日)
  - (イ) 合同企画展の実施  
龍谷大学大学院文学研究科日本史学専攻・文学部歴史学科文化遺産学専攻との合同企画展  
「龍大生が語る 京の町と祈りー東市, 七条町, 醍醐寺ー」  
(平成30年12月11日～平成31年1月20日)
  - (ウ) 速報展・企画陳列の実施
  - (エ) 外部施設での展示の実施
    - a 市役所本庁舎での考古資料展示
    - b 上京区総合庁舎での考古資料展示

- c 第16回西陣伝統文化祭「千両ヶ辻」での講演会の開催（平成30年9月23日）
- d 京都御苑閑院宮邸跡レクチャールームにおける考古資料展示（平成30年6月9日～6月15日）
- e 元京都市立淳風小学校における考古資料展示
- f 「発掘調査成果写真展2018」での考古資料展示（平成31年3月20日～令和元年5月12日）
- (オ) 小・中学生夏期教室の開催
- (カ) 文化財講座の開催
- (キ) 情報コーナーにおける普及啓発
  - 1 階情報コーナーにおいて、展示案内チラシやポスターを配布・掲示している。また展示内容に合わせてDVDの上映などを行うほか、各種参考資料を整備し、利用に供している。
- (ク) 考古資料の貸出し
- (ケ) 博物館学芸員課程実習生の受入れ
- (コ) 京都市立中・総合支援学校「生き方探究・チャレンジ体験」の受入れ
- (カ) 教育機関の学外授業等の受入れ
- (シ) 関係機関等の見学受入れ
- (ス) 取材対応
- (セ) 博物館団体等連携事業
- (ソ) 他の関係機関との連携事業及びその他関係機関への協力等
- (タ) ボランティア研修事業

## (2) 財務諸表

貸借対照表  
平成31年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	235,316	261,712	△26,396
未収金	259,339	250,606	8,733
未収消費税等	0	2,297	△2,297
流動資産合計	[494,655]	[514,615]	[△19,960]
2. 固定資産			
(基本財産)			
土地	922,366	922,366	0
基本財産引当預金	10,000	10,000	0
基本財産合計	(932,366)	(932,366)	(0)
(特定資産)			
退職給付引当預金	110,000	110,000	0
特定資産合計	(110,000)	(110,000)	(0)
(その他固定資産)			
建物	33,914	33,914	0
建物附属設備	2,779	2,779	0
構築物	552	552	0
什器備品	47,031	47,031	0
減価償却累計額	△62,691	△60,514	△2,177
電話加入権	354	354	0
その他固定資産合計	(21,940)	(24,117)	(△2,177)
固定資産合計	[1,064,306]	[1,066,483]	[△2,177]
資産合計	1,558,960	1,581,098	△22,137
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	76,010	106,029	△30,019
預り金	1,100	929	171
仮受金	78,527	93,936	△15,409
賞与引当金	14,021	16,120	△2,099
未払消費税等	8,783	521	8,262
流動負債合計	[178,441]	[217,535]	[△39,095]
2. 固定負債			
長期借入金	637,000	650,000	△13,000
退職給付引当金	210,233	227,691	△17,458
固定負債合計	[847,233]	[877,691]	[△30,458]
負債合計	1,025,673	1,095,226	△69,553
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	[932,366]	[932,366]	[0]
(うち基本財産への充当額)	(932,366)	(932,366)	(0)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	[△399,079]	[△446,495]	[47,416]
正味財産合計	533,287	485,871	47,416
負債及び正味財産合計	1,558,960	1,581,098	△22,137

## 正味財産増減計算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1	1	0
特定資産運用益	28	7	21
事業収益	794,929	724,897	70,032
受取寄附金	30	59	△29
雑収益	2,021	1,081	940
経常収益計	797,009	726,045	70,964
(2) 経常費用			
事業費	688,214	701,621	△13,407
管理費	61,379	62,405	△1,026
経常費用計	749,593	764,026	△14,433
当期経常増減額	47,416	△37,981	85,396
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	9	△9
経常外費用計	0	9	△9
当期経常外増減額	0	△9	9
当期一般正味財産増減額	47,416	△37,990	85,405
一般正味財産期首残高	△446,495	△408,505	△37,990
一般正味財産期末残高	△399,079	△446,495	47,416
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	932,366	932,366	0
指定正味財産期末残高	932,366	932,366	0
III. 正味財産期末残高	533,287	485,871	47,416

## 2 令和元年度事業計画

### (1) 事業計画の概要

#### ア 埋蔵文化財の発掘調査及び資料整理

- (ア) 埋蔵文化財の発掘調査の計画及びその施行
- (イ) 史跡名勝の復原整備に伴う調査, 研究
- (ウ) 出土遺構, 出土遺物等の調査, 研究, 整備及び保存
- (エ) 文献資料図書の整備及び研究

#### イ 埋蔵文化財に関する出版物の刊行及び配布

- (ア) 埋蔵文化財発掘調査報告書の刊行及び配布
- (イ) 埋蔵文化財に関する研究報告書の作成及び配布

#### ウ 埋蔵文化財に関する技術の研究及び技術者の養成

- (ア) 埋蔵文化財の調査技術及び出土品の保存技術に関する研究
- (イ) 発掘調査技術者の養成
- (ウ) 編集技術の研究, 修得

#### エ 埋蔵文化財に関する普及啓発

- (ア) 発掘調査現地説明会, 現地公開, 見学会の開催
- (イ) 啓発冊子等の刊行, 配布
- (ウ) 写真展の開催
- (エ) 区役所との連携による普及事業
- (オ) 京都市内の小中学校総合学習や地域活動への協力 (出前授業)
- (カ) ホームページ, Facebook 等による情報発信
- (キ) 埋蔵文化財に関する各種講演会, 研究会等への講師派遣協力

#### オ 埋蔵文化財に関する関係機関との連携

- (ア) 関係行政機関, 全国埋蔵文化財法人連絡協議会, 研究機関との連携
- (イ) 開発行為者との連絡調整

#### カ 埋蔵文化財出土遺物の保管, 管理及び整理 (京都市から受託)

- (ア) 出土遺物の保管, 管理業務
- (イ) 出土遺物の整理業務
- (ウ) 埋蔵文化財出土遺物文化財指定準備業務
- (エ) 出土文化財の保存処理業務

#### キ 史跡・名勝・天然記念物・建造物の管理事業 (京都市から受託)

史跡・名勝・天然記念物の巡回管理, 及び各地元保存団体と連携し定期的に整備 (26 箇所)  
名勝雙ヶ岡, 史跡天皇の杜古墳, 史跡醍醐寺境内 (栢杜遺跡), 天然記念物深泥池生物群集, 史跡御土居 (7 箇所), 史跡方広寺大仏殿及び石塁・石塔, 史跡鳥羽殿跡, 史跡栗栖野瓦窯跡, 史跡平安宮跡 (内裏跡, 豊楽院跡), 史跡檜原廃寺跡, 史跡蛇塚古墳, 史跡西寺跡, 史跡天塚古墳, 史跡山科本願寺南殿跡, 京都市指定史跡上中城址, 京都市指定史跡大枝山古墳群, 京都市登録史跡福西遺跡公園, 京都市登録建造物島原大門, 史跡山科本願寺跡, 上ノ山古墳

#### ク 調査作業業務受託事業

発掘調査以外 (保存処理・写真撮影・測量など) の受託事業の拡充

#### ケ 普及啓発事業

- (ア) 文化財講演会の開催 (11 月)
- (イ) 史跡ウォーク 3 回予定 (西陣歴史のまち協議会と共催)
- (ウ) 「関西考古学の日」への参加 (7 月～11 月)

#### コ 財務状況のインターネットによる開示

定款・事業実績概要・収支決算・事業計画・収支予算・役員名簿など

#### サ 京都市考古資料館の管理運営事業 (指定管理者)

- (ア) 考古資料の展示及び特別展等の開催

- a 常設展示
  - b 平成 30 年度後期特別展示「京都の飛鳥・白鳳寺院―平安京遷都前の北山背―」（6 月 23 日まで）
  - c 令和元年度前期特別展示「御土居 洛中洛外のはざま―御土居跡（西九条周辺）出土品を中心として―」（7 月 13 日から 11 月 24 日まで）
  - d 合同企画展「平安京の器と饗宴（仮）京都橘大学と協働」（12 月中旬から 1 月中旬まで）
  - e 令和元年度後期特別展示「未定」（2 月上旬から 6 月中旬まで）
  - f 企画陳列
- (イ) 考古資料に関する普及啓発事業の実施
- a 小・中学生夏期教室の開催（8 月）
  - b 京都市考古資料館文化財講座（京都学講座）の開催（年 10 回実施）
  - c 考古資料の貸出し
  - d 博物館学芸員実習の受入れ
  - e 京都市立中学校・総合支援学校「生き方探究・チャレンジ体験」事業の受入れ
  - f 修学旅行生「発掘体験」事業
  - g 教育機関の学外授業等の受入れ
  - h 生涯学習グループなどの見学受入れ及び解説
  - i 考古資料館展示解説ボランティアの育成
- (ウ) 考古資料に関する関係機関との連携強化
- 加盟している京都市博物館施設連絡協議会等へ引き続き参加し、博物館運営の情報収集に努めるほか、京都市教育委員会の学校教育や生涯学習等の関係機関と連携、協力

## (2) 予算

正味財産増減予算書  
平成31年4月1日～令和2年3月31日

(単位：千円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	4	4	0
特定資産運用益	100	100	0
事業収益	550,857	800,891	△250,034
受取寄附金	655	655	0
雑収益	1,990	1,990	0
経常収益計	553,606	803,640	△250,034
(2) 経常費用			
事業費	498,159	727,503	△229,344
管理費	55,447	76,137	△20,690
経常費用計	553,606	803,640	△250,034
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	△446,495	△410,005	△36,490
一般正味財産期末残高	△446,495	△410,005	△36,490
II. 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	932,366	932,366	0
指定正味財産期末残高	932,366	932,366	0
III. 正味財産期末残高	485,871	522,361	△36,490

## (参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H28 (決算)	H29 (決算)	H30 (決算)	R1 (予算)
正味財産増減計算書	経常収益	897,535	726,045	797,009	553,606
	当期経常増減額	97,270	△37,981	47,416	0
	当期正味財産増減額	12,249	△37,990	47,416	0
貸借対照表	総資産	1,590,718	1,581,098	1,558,960	
	総負債	1,066,857	1,095,226	1,025,673	
	正味財産	523,861	485,871	533,287	

## (参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H28 (決算)	H29 (決算)	H30 (決算)	R1 (予算)
委託料	京都市考古資料館管理運営委託 (指定管理)	25,899	25,899	25,899	26,139
	埋蔵文化財の調査委託	656,640	341,138	328,216	
	出土遺物文化財指定準備	30,000	30,000	27,000	
	遺物保管委託	69,485	69,485	69,485	
	出土遺物整理	20,000	20,000	10,000	
	埋蔵文化財普及啓発委託	833	833	833	
	史跡名勝等の管理委託	34,665	36,885	40,637	
	史跡公園等の緊急再整備			8,990	
	史跡公園等の災害復旧			9,500	
	出土文化財緊急保存処理			2,000	
貸付金	長期貸付金 (累計残高)	650,000	650,000	637,000	624,000

### 第3 経営評価結果

#### 1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 当期経常増減額は平成29年度は38百万円の赤字であったが、今期は47百万円の黒字となった。発掘調査事業収入は、公共事業、民間事業ともに前年度を若干上回ったが、黒字となった主な要因は、他の調査団体からの3人の派遣職員の受け入れを取りやめ、自組織の職員で効率的に業務を遂行したことであり、このことは評価できる。</li><li>・ また、平成26年度以降は、平成22年度から実施してきた本市からの長期貸付を実行せずに運営しており、経営努力には一定の成果が見える。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 本市において、発掘調査を行うためには、地域の歴史や各時代の土層、遺物に関する専門的な知識と経験に基づく高水準の調査技術が必要である。</li><li>・ 当財団は、設立以来、それらを蓄積、維持し、公共事業をはじめとする本市におけるほとんどの発掘調査を受託し、適切に実施している。</li></ul>

#### 2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 積極的な事業獲得に努め、発掘調査、史跡等管理業務等、前年度を上回る実績を確保し、増収を達成した。</li><li>・ 加えて人件費を中心に経費節減に努めることで2期ぶりに当期経常増減額が黒字化した。</li><li>・ 引き続き、経営改善を進め、黒字経営を維持していく必要がある。</li></ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 発掘調査事業の需要は公共事業の有無や景気の動向に大きく左右される。</li><li>・ 需要が減少した際も黒字を維持できるよう発掘調査事業以外の収入の確保やより一層の経費節減に努めていく必要がある。</li></ul>